

令和 2 年度決算に係る

定期 監査 資料

令和 3 年 6 月

食肉衛生検査所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	収入証紙取扱調べ	4 頁
7	現金の取扱状況	4 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	4 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	7 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	8 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	9 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
13	備品の処分状況調べ	9 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	当年度における業務の概要	10 頁
	(1) 事業実施概要	
	(2) と畜検査状況	
	(3) 検査結果に基づく措置	
	(4) と畜場内とさつ頭数及びとさつ解体禁止又は廃棄したものの原因	
16	試験検査の状況	12 頁
	(1) 行政検査	
	(2) 受託検査	
17	調査研究等	13 頁
○	意見、要望等	14 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項
該当なし
- (2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和3年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	当該年度	2.4.1現在	
定員	0	0	11	11	0	0	11	11	
現員	() 0	() 0	() 11	(1) 12	() 0	() 0	() 11	(1) 12	R2 育児休業1名
過不足(△)	0	0	0	1	0	0	0	1	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	1	1	0	0	0	0	1	1	

4 役付職員の調べ

(令和3年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
所長	(兼) 梁川 直宏	0	1	衛生環境研究所 参事
次長	(兼) 松村 毅	1	1	衛生環境研究所 課長補佐 出納員
課長補佐	湯口 俊之	0	6	会計員

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
	14,129	528		13,601	
将来ビジョン					
令和新時代創生戦略					
政策項目					
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
と畜場法に基づくと畜検査を厳正に行い、と畜場及び食肉処理施設への衛生指導を徹底し、又、と畜検査情報を生産者に還元することにより、安全な食肉を消費者に提供する。					
(イ) 事業の実施状況					
(1) と畜検査 (詳細は15 当年度における業務の概要を参照)					
(令和3年3月31日現在)					
	と畜検査 頭数	全部廃棄 頭数	一部廃棄 頭数	TSE・BSE検査 頭数	精密検査 件数
牛	5,739	143	4,584	0	747
とく	5	0	5		0
豚	78,191	97	31,973		484
めん羊	0	0	0	0	0
山羊	13	0	4	0	0
馬	0	0	0		0
計	83,948	240	36,566	0	1,231
(2) 施設及び処理作業の衛生確保					
と畜場施設及び食肉処理施設の監視を(株)鳥取県食肉センター職員立会いの下で定期的に行い、施設の衛生的な改善を指導した。また、毎週枝肉の拭き取り検査を行い、汚染状況を確認し、作業環境の改善に貢献している。					
(3) と畜検査情報等の還元					
と畜検査の結果を生産農家ごとに集計し、罹患率・廃棄率等の統計を取り、毎月情報提供を行った。また、家畜保健衛生所とも情報共有して農家の指導等に役立ててもらった。					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
昨年度導入した豚丹毒診断の遺伝子検査法を改良・マニュアル化し、判定までに要する日数の減少に貢献した。					
ウ 成果及び効果					
(1) 食肉衛生検査					
と畜検査、拭き取り検査等により、食肉の安全の確保に寄与した。					

(2) 施設及び処理作業の衛生確保

と畜場、食肉処理施設における施設、処理作業の衛生指導を徹底することにより、衛生的な食肉の提供に努めた。

(3) と畜検査情報等の還元

フィードバック事業に参加した生産者等へと畜検査データを提供することにより、生産性の向上、家畜飼養管理の改善に役立てていただき、健康な獣畜の出荷に寄与した。

エ 課 題

・ 人員の確保

と畜検査員はと畜場法で県の獣医師でなければならないと定められているが、近年、獣医師職員数が減少しており、職員の産休・育休時に正職員の異動で対応することが困難な状況になっていることから、獣医師職員の確保が必要である。

6 収入証紙取扱調べ

有・無

7 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

該当なし

(2) つり銭の状況

該当なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和 3年 5月 日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	(内訳) 食肉衛生検査 所庁舎敷地	西伯郡大山町小 竹1291-7	1,483.53	2,855,795	増加	R				R	1,483.53	2,855,795	
計			1,483.53	2,855,795	減少	R				R	1,483.53	2,855,795	
普通財産	(内訳)				増加	R				R			
計					減少	R				R			
合計			1,483.53	2,855,795							1,483.53	2,855,795	

イ 建築物

(令和 3 年 5 月 日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	(内訳) 食肉衛生検査所庁舎	西伯郡大山町小竹1291-7	633.45	76,264,105	増加 R	—	—	—	R	—	633.45	76,264,105	
	車庫	西伯郡大山町小竹1291-7	16.15	1,134,000	増加 R	—	—	—	R	—	16.15	1,134,000	
	会議室	西伯郡大山町小竹1291-7	49.68	4,017,000	増加 R	—	—	—	R	—	49.68	4,017,000	
計			699.28	81,415,105	減少 R	—	—	—	R	—	699.28	81,415,105	
普通財産	(内訳)		—	—	増加 R	—	—	—	R	—	—	—	
計			—	—	減少 R	—	—	—	R	—	—	—	
合計			699.28	81,415,105							699.28	81,415,105	

施設の評価額については、県有施設は課税対象ではないため計算されていないことから初期算定額を記載 (大山町税務課確認)

ウ 山林
該当なし

エ 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
(ア) 異動状況
該当なし

(イ) 出願及び登録の状況
該当なし

(ウ) 活用の状況
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無 (郵便切手)

イ タクシーチケットの保有状況

(令和 3年 3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
50 枚	0 枚	3 枚 5,610 円	47 枚

9 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	財団書類庫用地	西伯郡大山町小竹1291-7	m ² 5.056	令和2年3月6日	平成12年3月10日	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	月額・年額 214	214	西伯郡大山町小竹1291-7(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会 文書ID 19-00305229
計							214		
普通財産	—	—	—	—	—	—	月額・年額	—	該当なし
計							—	—	
合計							214		

イ 建物

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	財団事務所及び倉庫	西伯郡大山町小竹1291-7	m ² 19.845	令和2年3月6日	平成12年3月10日	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	月額・年額 66,400	66,400	西伯郡大山町小竹1291-7(公財)鳥取県食鳥肉衛生協会 文書ID 19-00305229
計							66,400		
普通財産	—	—	—	—	—	—	月額・年額	—	該当なし
計							—	—	
合計							66,400		

(2) 物品
該当なし

10 借受不動産明細調べ

(令和 3年 3月 31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況			借受先		備考
						借受期間	単価	借料(円)	住氏	所名	
土地	宅地	会議室用地	西伯郡大山町 小竹1291-1	m ² 133.00	有	R2.4.1 ~ R3.3.31	円/年額 48,000	本年度の借料 48,000	西伯郡大山町 小竹1291-1 (株)鳥取県食肉セン ター	文書ID 19-00321005	
合計											

1.1 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和 3年 3月 31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡大山町小竹 1291-7	12.5	1,000
普通財産	—	—	—

(2) 減免の考え方(減免を行った場合のみ)

勤務地が地理的に不便な場所にあり、公共交通機関を利用した場合、勤務地の最寄駅・バス停から勤務先までの距離が遠く、始業時間に間に合わない、かつ、公共交通機関での退庁が困難な職場であるため。
(直近の最寄駅・バス停まで5km以上離れている)

(3) 使用料の見直し

平成30年4月1日実施

1.2 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

1.3 備品の処分状況調べ

(令和 3年 3月 31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用 決定 年月日	処 分					備 考
			売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年月日	売払額	処分費用	
スタマッカー (オルガノ8 OT)	平成10年 1月13日	令和2年 7月6日	棄却	更新機器購入 時に業者引取	令和2年 9月17 日	円	0円	文書ID 20- 0008961 4
合 計						—	—	

1.4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

15 当年度における業務の概要

(1) 事業実施概要

安全で衛生的な食肉の確保を目的として、(株)鳥取県食肉センターと畜場に搬入された家畜のと畜検査を厳正に実施し、家畜疾病から食肉への危害発生を防止した。

と畜場の衛生対策として平成30年6月にと畜場法が改正され、と畜場においてHACCPに基づく衛生管理が制度化された。そこで令和3年6月の施行に向けて、事業者への助言・指導を行うとともに、当所による外部検証実施に向けた体制づくりに努めた。

BSE(牛海綿状脳症)及びTSE(伝達性海綿状脳症)については、現在、生体検査等で罹患している疑いのある場合のみが検査対象となっているが、当該年度は検査対象となった個体はなかったため検査を実施していない。

(2) と畜検査状況

令和2年度における総検査頭数は、83,948頭で、前年度に比較して2,598頭(約3.1%)の減であった。

畜種別内訳は、牛5,739頭(和牛1,946頭、乳牛3,793頭)で前年度に比較して16頭(約0.3%)の減であり、豚は78,191頭で2,617頭(約3.3%)の減であった。その他、とく5頭、めん羊0頭、山羊13頭であった。

(令和3年3月31日 現在) (単位:頭)

区 分	和 牛	乳 牛	牛 計	とく	馬	豚	めん羊	山 羊	合 計
当 年 度	1,946	3,793	5,739	5	0	78,191	0	13	83,948
前 年 度	1,863	3,892	5,755	7	0	80,808	9	3	86,582
前年度比(%)	104.5	97.5	99.7	71.4	0	96.8	0	433.4	97.0

注 「とく」:生後1年未満の牛

(注)本表を年度中途において作成する場合は12月末現在とし、「前年度」「前年度比(%)」は、「前年度同期」「前年度同期比(%)」に改めること。

(3) 検査結果に基づく措置

検査の結果、処分した総頭数は36,807頭(総検査頭数の約43.8%)であった。

(7) 禁 止

とさつ禁止頭数は豚1頭で、処分理由は膿毒症であった。

(イ) 全部廃棄

全部廃棄頭数は240頭で、畜種別では牛143頭、豚97頭であった。

原因別では、豚丹毒5頭、膿毒症83頭、敗血症10頭、尿毒症5頭、高度の黄疸19頭、高度の水腫71頭、牛伝染性リンパ腫20頭、白血病2頭、腫瘍の多発1頭、全身性の出血性炎症2頭、全身性の筋肉変性22頭であった。

(ウ) 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは36,566頭で、畜種別では牛4,584頭、とく5頭、豚31,973頭、山羊4頭であった。

(4) と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したもの原因

(令和3年3月31日現在) (単位:頭)

区分	と畜場とさつ頭数	処 理	処分実頭数	疾病別頭数										計													
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ病	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌病	その他	豚熱	その他		寄生虫病	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	他の疾病	中毒諸症	炎症又は感染症による炎症又は炎症産物による	変性又は萎縮	その他		
牛	5,739	禁止	143																								
		全部廃棄	4,584																								
		一部廃棄 計	4,727			4	4																				
とく	5	禁止																									
		全部廃棄	5																								
		一部廃棄 計	5																								
馬		禁止																									
		全部廃棄																									
		一部廃棄 計																									
豚	78,190	禁止	1																								
		全部廃棄	97	5																							
		一部廃棄 計	31,973	5																							
めん羊	0	禁止																									
		全部廃棄																									
		一部廃棄 計																									
山羊	13	禁止																									
		全部廃棄	4																								
		一部廃棄 計	4																								
計	83,947	禁止	1																								
		全部廃棄	240	5																							
		一部廃棄 計*	36,566	5																							
			36,807																								

*とく 生後1年未満の牛

* 疾病別頭数の計と処分実頭数の相違については疾病が重複するため

1,037

16 試験検査の状況

(1) 行政検査

実施頭数は294頭で、検査延件数は1,231件と前年度と比較して1,677件の減であった。(令和元年度 実施頭数389頭 検査延件数2,908件)

(令和3年3月31日 現在) (単位:頭、件)

検査区分 疾病名等	検査頭数	顕微鏡 検査	細菌検査	病理組織 検査	理化学 検査	検査 延件数
敗血症	牛	7	81	84		165
	とく					
	豚	4	51	46		97
	小計	11	132	130		262
膿毒症	牛					
	とく					
	豚					
	小計					
尿毒症	牛	9			11	11
	とく					
	豚	15			25	25
	小計	24			36	36
黄疸	牛	25			27	27
	とく					
	豚	19			19	19
	小計	44			46	46
腫瘍	牛					
	とく					
	豚					
	小計					
炭疽	牛					
	とく					
	豚					
	小計					
ヨネ病	牛	1	3	3		6
	とく					
	豚					
	小計	1	3	3		6
牛伝染性リンパ腫	牛	22			188	188
	とく					
	豚					
	小計	22			188	188
豚白血病	牛					
	とく					
	豚	2			17	17
	小計	2			17	17
豚丹毒	牛					
	とく					
	豚	13	13	38		51
	小計	13	13	38		51
抗菌性物質残留検査	牛	2			6	6
	とく					
	豚					
	小計	2			6	6
枝肉の衛生状況検査 (O157及び生菌数)	牛	83		294		294
	とく					
	豚	47		235		235
	小計	130		529		529
HACCP外部検証	牛	25		50		50
	とく					
	豚	20		40		40
	小計	45		90		90
合計	牛	174	84	431	188	747
	とく					
	豚	120	64	359	17	484
	合計	294	148	790	205	1,231
前年度	合計	389	628	1,694	469	2,908

(2) 受託検査

株式会社鳥取県食肉センターから大腸菌数検査を71件受託し、検査した。

(令和3年3月31日現在) (単位: 件)

項目	検査区分	受託件数	細菌検査	病理組織 検査	理化学 検査	検査 延件数
拭き取り検査	牛	24	24			24
	豚	47	47			47
その他						
合計		71	71			71
前年度		72	72			72

1.7 調査研究等

(令和3年3月31日現在) (単位: 頭、件)

項目	検査区分	検査頭数 (件数)	顕微鏡 検査	細菌検査	病理組織 検査	理化学 検査	検査 延件数
病理検査		34			89		89
微生物検査 (PCR)		5		18			18
微生物検査 (汚染度調査)		30		120			120
微生物検査(同定)		104	5	367			372
精度管理		7	2	52		40	94
残留物質		3				6	6
その他							
合計		183	7	557	89	46	699
前年度		301	25	582	79	96	782

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、資料様式、その他監査に関する要望、改善点等)

特になし